



統合失調症とくすり

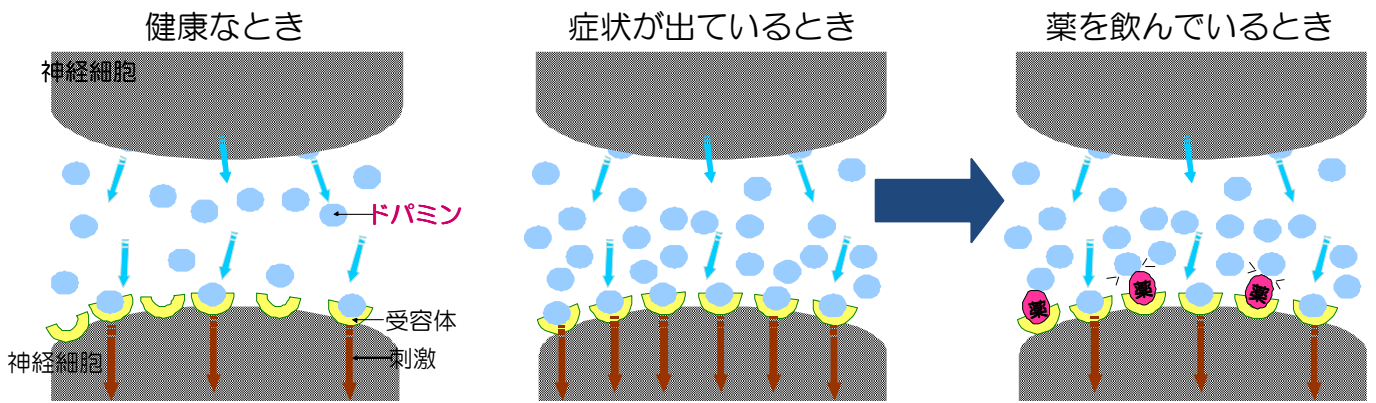
～抗精神病薬は、どんなふうに効くの？～



●統合失調症の原因

まだよくわかっていませんが、ドパミンなど脳内の神経伝達物質（神経細胞間で情報を伝える役目をする物質）のバランスが乱れやすく、ストレスに対応する力が低下している状態だと考えられています。

●抗精神病薬の効くしくみ



脳の神経細胞と神経細胞の間では、ドパミンが行き来して情報のやり取りをしています。神経細胞にはドパミンを取り込むための受容体（受け皿）があります。

幻聴、妄想、混乱などの陽性症状は、ドパミンが増えすぎることが原因のひとつと考えられています。

薬が受容体にくっついて、取り込まれるドパミンの量を調節します。

●抗精神病薬は、症状を改善するだけの薬ではありません

統合失調症の人は

- ・ドパミンのバランスが乱れやすい
- ・ストレスへの対処が苦手

症状が出て生活しづらい

薬を飲むと

- ・ドパミンのバランスが整う
- ・ドパミンの働きが回復

- ・ストレスへの対応力が回復
- ・徐々に、症状が和らぐ

薬を飲み続けると

自分らしい生活ができる

